

「手話」で自分の世界に広がりをも!!



▶手話で「アイ・ラブ・ユー!」

あしたば白石で開かれた手話講座を受講していたメンバーが、終了後も勉強を続けたいと、このサークルを発足したのが99年9月。ちょうど1年経った現在のメンバーは14人です。

仕事帰りに直接という方もいて皆さん忙しいですが、「こんばんは。お仕事ご苦労さま。」の手話を交わして、テキストばかりでない交流のひとつを楽しんでいます(たまにはお茶を飲みながら)。

言葉の意味や様子をわかりやすく表すのだから、同じ「食べる」でも「ラーメンを食べる」とか「焼き鳥を食べる」とかをどう表現するか、考え合うのも楽しい学びの一つです。表現力もつくかもしれません。

英語ができるのと10億人と話せるという世界が広がると思います。あなたも仲間に入りませんか? お待ちしています。

手話サークルのご案内
開催日: 第2・4火曜日の月2回、夜7時~8時30分。場所: あしたば白石3階。会費: 1,000円/月

市民文芸

応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する地名をはっきり書き、〒989-0257白石市宇理町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男 選

テレビよりとりし演歌のテロップにははしゃぐ孫等の声まじり居り 佐藤 ひで
丹精をこめしクレマチス入院の夫居らぬ間にほのぼの咲きぬ 太田 敏子
まな板のくぼみは戦後四人の子育てし吾れ的生活の証し 石沢 敏子
暑かりしひと日の夕アスファルトに油の光る坂登り行く 川村 静恵
胃と腸のカメラ検査をようやくに終えたる吾は疲れ果てたり 高子うこん
真夏日の続く夜明けの裏敷に我が世の春とひぐらし鳴きぬ 八嶋 正子
みやしろの輪くくり祭に若きらのカラオケの会夜の更けるまで 高野 伝
初盆の義母に贈らん提灯を選ぶ無沙汰の詫びを言いつつ 大庭 良子
一泊の旅から帰れば葛のつる側溝こえて道に はびこる 斎藤タカ子
朝夕に暑さに負けず咲きつづく花にたつぷり水そそぎやる 佐藤 とく

評 一首目。テプレコダーにはよくこういうことがある。孫らの声がほほ笑ましい。二首目。「ご主人が入院して留守の間に咲いた花。ほろ苦い喜びで哀感を誘う。三首目。まな板のくぼみは鋭い発見だ。そこには子育てやその他過去の苦勞が凝縮されている。

俳壇

遠藤秋尾 選

星まつり伝言板のハングル語 佐藤 周子
遠雷に震える子犬抱きしめる 大庭 良子
寝不足のいつまで続く暑さかな 山家 弘子
回り来し僧をもてなす扇風機 岩沢 伍峯
親と子の映画鑑賞夏休み 高橋 正男
夫の背を流さぬ悔や曇洗ふ 日下文

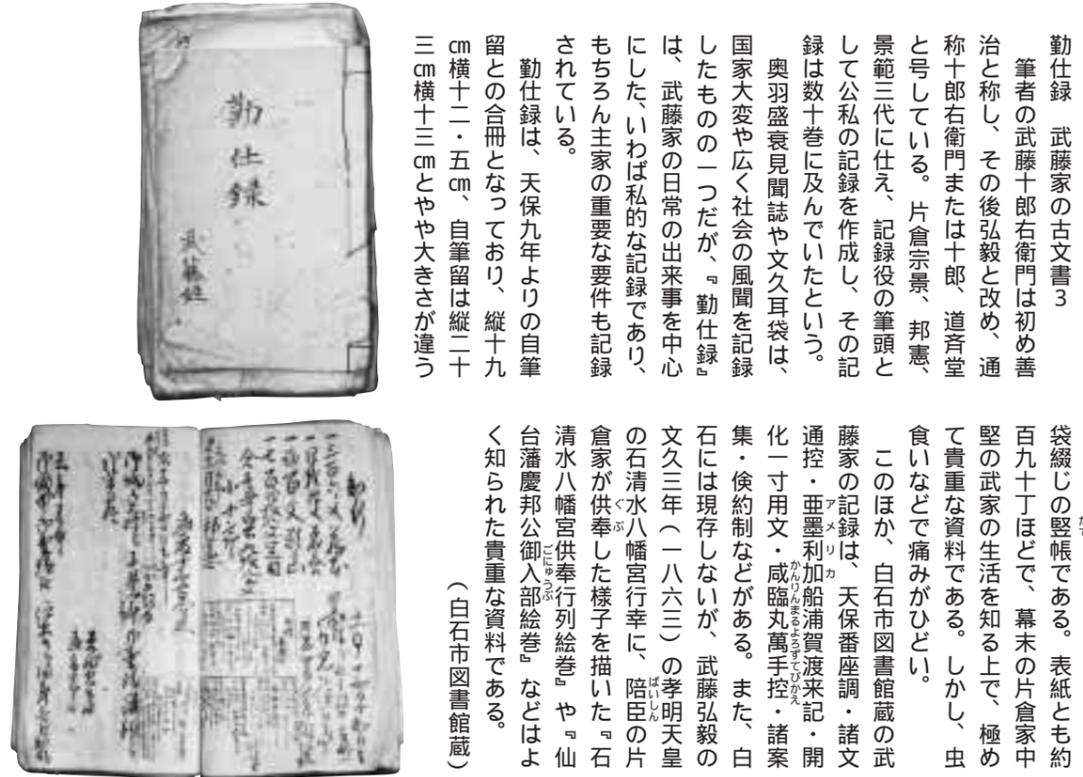
評 一句目。時代の变化は「孝行」を死語化しかねない、老親の受難期到来です。でも誰しも老いるのです、そのとき「羽根布団壘にかけてる親孝行」となるでしょう。ただ遅いだけ。二句目。男女平等の時代、謙そん語は乱発禁止。この方は「私の良妻です」とは恐妻家といえども、いかなるものか。三句目。ボランティアの労苦も感謝の笑顔に接して報われる。「猛暑のせいは今月は投句が少なかつたです。残暑にめげず、ご健吟なさいませよ!」

柳壇

山田風流 選

親孝行その言葉すら辞書をひき 高橋 要一
愚妻とは何よと妻が抗議する 草野 清
笑みひとつ得て報われるボランティア 小野嘉津子
からませた指が知らぬ顔をする 米沢 礼子
人情味好きで祭りの灯にとける 一條 芳子
いい日和ゴロ寝で過ごす空財布 佐藤 武雄
検診日事なき昼餼店屋もの 阿部はぎの
鎮座に耐える真夏の黒い服 四電 英夫
極上のうたたねでできる美容室 平間 大恵
暇な人ハエ一匹も打ち取らず 大庭 良子

白石の古文書 ⑥



勤仕録 武藤家の古文書3
筆者の武藤十郎右衛門は初め善治と称し、その後弘毅と改め、通称十郎右衛門または十郎、道齋堂と号している。片倉宗景、邦憲、景範三代に仕え、記録役の筆頭として公私の記録を作成し、その記録は数十巻に及んでいたという。奥羽盛衰見聞誌や文久耳袋は、国家大変や広く社会の風聞を記録したものの一つだが、『勤仕録』は、武藤家の日常の出来事を中心にした、いわば私的な記録であり、もちろん主家の重要な要件も記録されている。

勤仕録は、天保九年よりの自筆留との合冊となっており、縦十九cm横十二・五cm、自筆留は縦二十cm横十三cmとやや大きさが違う。

袋綴じの縦帳である。表紙とも約百九十丁ほどで、幕末の片倉家中堅の武家の生活を知る上で、極めて貴重な資料である。しかし、虫食いなどで痛みがひどい。

このほか、白石市図書館蔵の武藤家の記録は、天保番座調・諸文通控・亜墨利加船浦買渡来記・開化一寸用文・咸臨丸萬手控・諸案集・俟約制などがある。また、白石には現存しないが、武藤弘毅の文久三年(一八六三)の孝明天皇の石清水八幡宮行幸に、陪臣の片倉家が供奉した様子を描いた『石清水八幡宮供奉行列絵巻』や、仙台藩慶邦公御入部絵巻』などはよく知られた貴重な資料である。

(白石市図書館蔵)

カロラインの国際コーナー International Corner



物もハロウィーンの時だけの食べ物です。

現代のハロウィーンは、このように楽しんでいますが、ハロウィーンはもともとケルト族の祭り「サーウヘイン」からきています。昔のケルト族のアイランドでは、10月31日は夏の終わる日で、その年に肉体から抜け出た死霊が生きている人に取りつく日だと信じていたのです。それを防ぐために、31日の夜、村の人々は家の火を消して、家を冷たくして嫌な場所にしました。そして村の人々は恐ろしい服装をして、村の中を歩いて、大きな音を出したということです。そうすれば、死霊が怖がって、逃げて行くこと信じていました。

ハロウィーンの間だけの特別な食べ物もあります。それは「パンプラック」という干しぶどう入りの丸ケーキです。パンプラックは、その時だけ売られ、中には指輪が隠されています。指輪を見つけた人には幸運が訪れると言われていました。アイランドでは、マンダリンオレンジという果

アイランドでは、日本と同じようにいろいろなお祭りがあります。10月31日はハロウィーンというお祭りの日です。その日、子供たちは仮装して、近所の家を訪ねて、お菓子や果物をもらいます。ドアノックして、「Help the Halloween Party! 」と言います。(「ハロウィーンパーティーにお菓子ちょうだい! 」という意味です。)そして、近所に大かがり火があって、皆は火の周りに立って、そのもらったお菓子と果物を食べます。その後、皆は家に帰って、家族や友達とハロウィーンパーティーをします。もちろん花火もあります。カボチャを使ってランタンを作る人もいます!

ハロウィーンの間だけの特別な食べ物もあります。それは「パンプラック」という干しぶどう入りの丸ケーキです。パンプラックは、その時だけ売られ、中には指輪が隠されています。指輪を見つけた人には幸運が訪れると言われていました。アイランドでは、マンダリンオレンジという果